

世界で、6,100万人の子どもが
学校教育を受けていない。
7億5,800万人の大人が
読み書きができない。

世界一大きな授業2017

質の高い教育をみんなに

No one must be left behind!
だれひとり、とり残さない!

4月15日(土)~5月31日(水)

GOAL

2030年までに、すべての人が
質の良い教育を受けられること

日本では、教育協力 NGO ネットワーク(JNNE)が実施する「世界一大きな授業 2017」(4月15日~5月31日)に506校・グループ、4万3,493人が参加。幼稚園から小学校、中学校、高校、フリースクール、大学、グループが「授業」を行いました。

教育を受けられない、文字が読めないとは、どういうことだろう?



「字が読み書きできることは普通だと思っていたので、とても驚きました」 秋田県立能代松陽高等学校



「文字が読めないと人生の選択に大きく影響すると思った。特に女性の識字率が低いと知り、女子教育って重要なんだと思った。」 大阪成蹊女子高校

授業を通して気づいたこと



玉川聖学院(東京)

◆「日本は、本当に豊かな国なの?」とずっと考え、世界中には十分な教育を受けられない子どもたちや、様々な立場や環境で生活している人々がいることを改めて知り、自分の無関心さに呆れた。(第一学院高等学校宇都宮キャンパス)◆ただただ世界の軍事費の膨大さに驚いた。知らないという事は恐ろしいことだと思った。(九州国際大学付属高等学校 国際交流部・福岡県)◆「途上国に援助をし過ぎると、援助ばかりに頼るようになり、自分たちで解決しようとしなくなる」という話を聞いたことがあります。先進国が進んで援助をすればいいように見えますが、とても複雑で難しい問題なので、今日の授業のようにいろんな人と意見を交わすのは大切だと思いました。(愛媛県立三崎高等学校)◆(「あなたが大切だと思うこと」のランキングの)ワークシートの結果が、各班でバラバラだったのに驚いた。(岡山市立岡山後楽館高等学校)

提言を考える、意見を出し合う

◆小さい子どもも通れるような安全な通路を作ってもらいたいです。理由は、学校に向かう時こわれたりしたらとても大変なので、今すぐにもこわれそうな道路などは新しく、美しい、きれいな道で元気よく登校してほしいです。(取手市立戸頭中学校・茨城県)◆大人への教育~学ぶのは子どもだけじゃない~子どもの教育の壁を作っている大人の教育(教育の大切さを説くための教育)も同時に行っていくことも大事(ガールスカウト奈良県第22団 シニアレンジャー部門)◆難民受け入れをもっと積極的にやって欲しい。そして、文章では伝えきれないので、自分たちの学校に日本政府の方にきてもらい、直接自分たちの想いを伝えたい。(長崎日本大学中学校)



高校生が「先生」になる。「国会議員のための世界一大きな授業」

国会議員に、外務省に、高校生が動きかけ!

5月17日、高校生が国会議員に行き「国会議員のための世界一大きな授業」を衆議院第二議員会館で実施しました。高校生たちは、障がいを持った人の困難や厳しい教育環境にある途上国の子どもたちの気持ちが伝わるようにアイデアをこらした体験型の授業を行い、「生徒」となって参加した18人の議員に、教育支援の大切さをアピールしました。

6月28日、JNNEのメンバーと高校生は外務省で、牛尾滋NGO担当大使(国際協力局参事官地球規模課題担当)と面会し、全国の「世界一大きな授業」参加者から寄せられた「首相・外務大臣への手紙」を手渡し、「日本から途上国の子どもたちへの教育援助をもっと増額してください」と申し入れました。



外務省で、「世界一大きな授業」の全国の参加者の提言を手渡し高校生

100か国以上で教育の大切さを学びました。
すべての人が教育を受けられるように
それぞれの政府に声を届けました。

2017年4月、パレスチナでは、学校で「大きな夢」のテーマで活動を行い、また、政府にだれもが教育を受けられるための働きかけをしました。
イエメンでは、生徒、学生、市民が教育のための署名を集め、政府と連携して教育について省庁の決意についてのスピーチを聞きました。



パレスチナ



イエメン

タンザニアでは、子どもたちは村を回って人々に教育の質を上げることの大切さを訴え、市民団体は学校の無い地方に集まって校舎の建設のためにレンガを作りました。イギリスでは、途上国の子どもたちへの教育援助が着実に実行されるように、30万人の若者の意思を政府に伝えました。

Dear all,

Today is the [Send My Friend to School!](#) Action Day!

Our Campaign Champions – twenty young people from across the UK – are currently in Parliament **RIGHT NOW** lobbying their MPs, providing evidence to the International Development Select Committee, meeting DFID Ministers, and handing in our campaign ask to Number 10, on behalf of the over 300,000 young people who've taken part so far in the campaign this year.

This year, the campaign is asking the UK to help complete the #missingpiece of the puzzle by **financing global education** – specifically by pledging \$500 million to the Global Partnership for Education for its 2018 – 2020 replenishment, providing quality and equitable education for millions of children around the world.

We need your help!

Please help to spread the word about the campaign and our Action Day today through social media.



イギリス

授業で出された「宿題」 国会議員は忘れていなかった

「授業」を受けた国会議員から、途上国への教育援助について、さらに勉強会をしようという提案がありました。教育支援に取り組んでほしいという高校生からの「宿題」を忘れていなかったのです。今後、NGOと子どもたちとともに広げていくことをめざし、さらに来年へとつなげています。

来年も!

2018年4~5月
「世界一大きな授業」を行います。
ぜひ、参加してください。

主催:教育協力 NGO ネットワーク(JNNE)

共催:プラン・インターナショナル・ジャパン

特別協力:(公財)ベネッセこども基金

助成:大竹財団

協力:地球対話ラボ

後援:文部科学省/外務省/全国連合小学校長会/全日本中学校長会/全国高等学校長協会/

日本ユネスコ国内委員会/ユネスコ・アジア文化センター/ESD 活動支援センター/動く→動かす/

国際協力機構/国際連合広報センター/ガールスカウト日本連盟/児童労働ネットワーク

■事務局 〒154-8545 東京都世田谷区三軒茶屋 2-11-22-11F

公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン内

電話:03-5481-0030 Eメール:gce.japan.campaign@gmail.com

世界一大きな授業 URL:http://www.jnne.org/gce/



教育協力 NGO ネットワーク

企画・実施団体

「世界一大きな授業」は、途上国で教育協力を行う NGO 22 団体のネットワークである JNNE に参加する次の団体が実施しています。



オックスファム・ジャパン



開発教育協会



シャンティ国際ボランティア会



日本 YMCA 同盟



プラン・インターナショナル・ジャパン



フリーザ・チルドレン・ジャパン



ラオスのこども



ワールド・ビジョン・ジャパン